

別記
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

| | |
|----------------------------------|------------------------|
| (宛先) 京 都 府 知 事 | 平成27年7月31日 |
| 住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) | 氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) |
| 大阪市北区梅田2丁目5-25ハービスOSAKA7F157-22階 | グンゼ株式会社 代表取締役社長 児玉 和 |

| | |
|--|---|
| 環境マネジメントシステムの名 称 | ISO14001 |
| 適 用 範 囲 | グンゼ(株)宮津工場 |
| 導 入 年 月 日 | 2001年07月06日 |
| 認 証 番 号 | JQA-EM1658 |
| 基 本 方 針 | (1) 地球温暖化防止のため、製造設備等のエネルギーの使用効率を向上させ、省エネルギーを推進します。 (2) 品質マネジメント活動の強化により良品率を高め、繊維屑などの廃棄物発生低減とエネルギーの有効活用を推進します。 (3) 物流に関わる搬送・資材のロス削減に取り組みます。 (4) 天橋立周辺環境を守ると共に、廃水処理管理の充実を図ります。 (5) 教育及び地域とのコミュニケーション活動を通じて構成員の環境意識向上と環境保全活動に取り組みます。 |
| 環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。) | (1) CO2排出量を4758.4(t-CO2)以下にする(12年度BM対89.7%) 改善量: 原油換算477.0k l 以上 (2) 廃棄物排出量を361001kg以下にする(12年度BM対91%以下) 改善量: 35703kg以上(12年度BM対9.0%) (3) 間接影響評価で総合ポイント30を達成する。 (4) 廃水処理充実で着色度30以下を維持する (5) 人材育成研修を24人実施する (6) 社会貢献活動を38回実施する (7) 物流に係わるエネルギーを4.4kl削減する |
| 目標を達成するための取組の内容 | 省エネルギー(CO2) ・熱交換器による更なる排熱回収による省エネ ・生産効率向上による省エネ ・生産現場スリム化による省エネ など合計30件 廃棄物低減活動 ・繊維屑の減少 ・染工屑減少(生産工程改善) ・汚泥量減少(CODカット、乾燥効率アップ) ・裁断型入れ改善 など計画合計12件 |
| 目標を達成するための取組の進捗状況 | 省エネルギー(CO2) ・低温排水熱回収による省エネ ・生地返反率低減および歩留まり向上による省エネ ・レイアウト変更小スペース化による省エネなど 合計56件実施済み 廃棄物低減活動 ・繊維屑の減少 ・汚泥量および屑量減少 ・裁断型入れ改善 など計画合計18件 |
| 目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価 | 当初計画通りに取組が出来ている。 |
| 事業活動に係る法令の遵守の状況 | 関連法規の遵守状況について毎月確認を行っている。 これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。 |
| 環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容 | 評価・見直しについては、年に一度評価及び見直しを実施。 平成25年度は、現行の目標及び取り組み内容により一定の成果が見られたことから、26年度も同一システムにより運用した。 |

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。